

2019年5月20日

あおぞら投信株式会社

## 「ディベートの 自己主張こそ 力あり 違いは当然 新たな一歩へ」

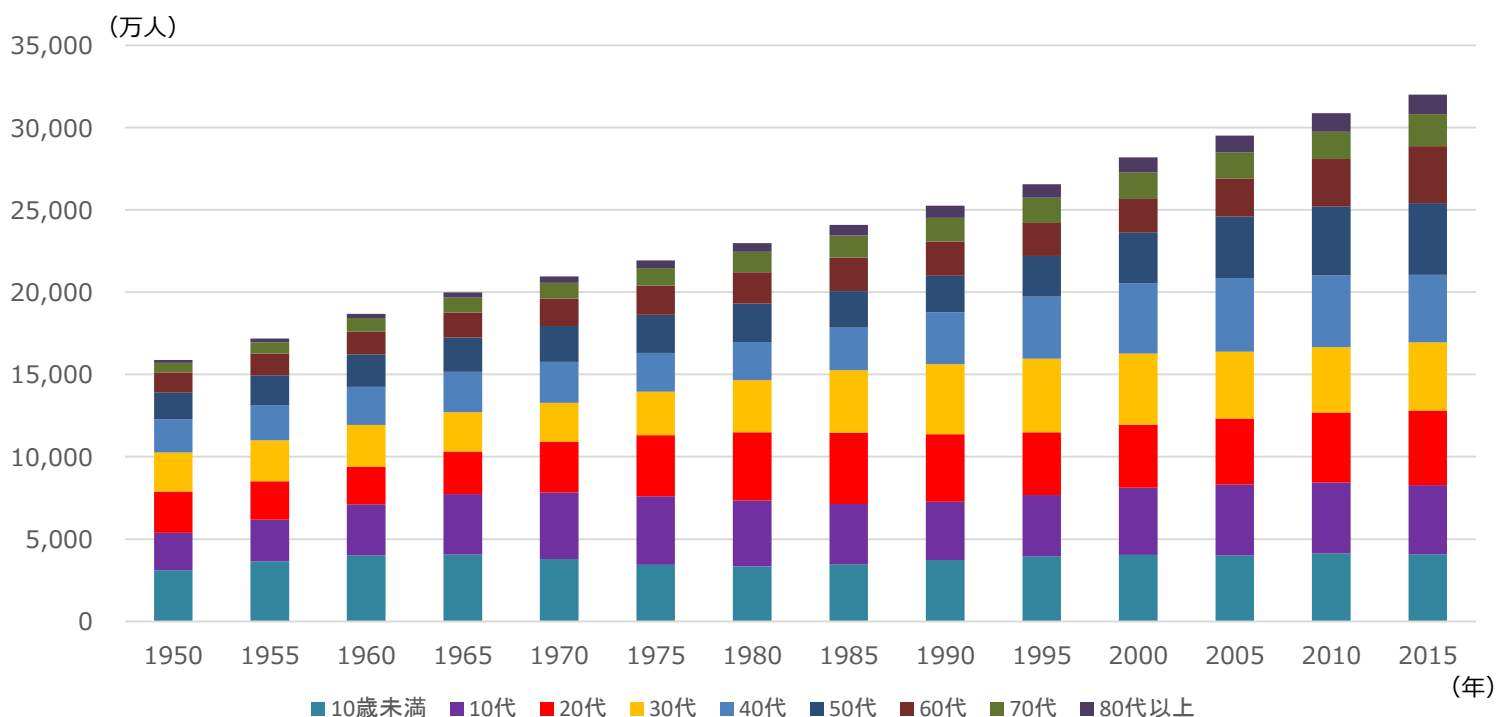
3年ぶりに訪れた米国で感じたことは、改めて多様な人種が活躍する国であるということです。また、20代、30代の若者が生き生きとしているということもあります。来年2020年の大統領選挙に向けて、民主党候補は既に20名にも上っています。中には37歳のインディアナ州サウスベンドのピート・ブーティジェッジ市長のように中央政治の経験のない候補もいるなど、ミレニアル世代\*がよいよ次の時代を動かす存在になる可能性が出てきています。

世界に目を向けると欧州連合離脱についての混乱が続く英国でも、長く続いた二大政党政治が姿を変えようとしていると見られます。今は議会制民主主義そのものの価値を見直す必要がある時なのかもしれません。米国の二大政党である共和党と民主党も、それぞれの支持層の変遷を見ると複雑な捻じれも見られます。特に1940年代以降の公民権運動を経て、支持層は変化をしたのです。このような歴史を踏まえて米国人と接していると、改めてState(州)への帰属意識が強いことを感じます。240年余りのこの国の歴史の中で、開拓が進んでいったことも含めて自分の祖先がどのようにしてそれぞれの土地に根付いていったかを意識するからでしょう。そして、今回もっとも日本との差異を感じたことは、議論の場の活気です。いろいろな世代、性別、出身地、出身国が異なることを前提として、個々の主張の意図を掴み、かつ自分の意見をすぐに述べる力は、日本ではまだまだ足りないことです。違いがあることが当たり前だからこそ議論の意味があり、その摩擦から何かが生まれる、ということこそがパワーの源泉であるという展開が必要なのだと考えます。

\*ミレニアル世代: 米国で、2000年代に成人となった世代。主に1980年代から2000年代初頭までに生まれた人を指すことが多い。

柳谷俊郎

### 米国の年代別人口構成の推移 (1950年～2015年)



出所: World Population Prospects 2017 (国際連合) および各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>